

## 2022年度 事業報告書

(単位：百万円)

	事業名称	事業実績等	予算	実績	差異
1 第3期 認証 評価へ	1) 第3期認証評価の受審結果への対応	1) 「自己点検・評価及び内部質保証推進委員会」において、第3期認証評価結果への改善対応指針が承認されました。この指針にある最優先課題については、令和6年度末までに改善を目指します。	0.7	0.7	0
	2) 内部質保証サイクルの確立	2) 「学修成果の把握・評価」については、外部システム及び外部アセスメントテストの導入決定など進展がみられました。また、学部学生の収容定員管理、編入学定員枠の是正についても、学則改正により対応しました。	—	—	—
2 教育力 の強化	1) 現行カリキュラムの改正準備	1) 令和6年度入学者適用のカリキュラム改正に向けて、取り組みました。各科目とDP、CPとの整合性、各科目における到達目標についても検証が進められました。	—	—	—
	2) オンライン教育の活用	2) コロナ禍の遠隔授業で蓄積された経験を活かし、今後多様なツールを高度に利用した遠隔授業を実施するための学則改正を行いました。	18.1	28.6	-10.5
	3) 自律学修支援の推進	3) LMS（学習支援システム）等の利用が定着しました。	22.8	9.6	13.2
	4) 学生の学修実態と成果の把握	4) コロナ禍において実施した「遠隔授業等に関するアンケート」にかわって、「学年修了時アンケート」を実施し、学生の学修実態と成果の把握を行いました。	—	—	—
3 の学生 支援	1) 学生サポート体制の整備	1) 「学生支援連絡会」による障がいのある学生サポート体制の周知と実態把握に努め、令和4年度は49名を支援しました。学生からの支援希望が多く寄せられたことから、専門コーディネーター3名を含む「学生支援室」を開設しました。	1.4	2.3	-0.9
4 入試 制度 の強化	1) 志願者数の確保	1) 推薦等入試を含む総志願者数は19,557名（前年比72名減）となりました。英語外部試験を活用した入試制度の拡充、学内併願が容易となるような検定料の見直し、一般選抜入試の学外新宿会場新設等を行い、昨年度並みの志願者数を確保しました。	—	—	—
	2) 学生数の確保と厳格な定員管理	2) 入学目標者数2,023名に対し、入学手続き者数2,160名（4月1日現在）となりました。結果、入学定員超過率は123%となりました。	58.9	73.4	-14.5
	3) 広報力の強化	3) 入試情報サイトをリニューアルしました。また、「サタデーキャンパス見学会」を毎月実施しました。	91.7	98.2	-6.5
5 国際 化推 進	1) 「獨協大学の国際化推進のためのアクションプラン2021」の推進	1) 新たな入試制度「外国人特別入試B」を導入し、多様なバックグラウンドを持つ学生の受け皿を作りました。また、留学資格および留学単位の認定制度を見直し、全ての学科で1学期間の留学派遣を可能としました。併せて、オンライン留学の単位認定を認めました。	10.7	4.6	6.1
6 人組 織	1) 組織再編	1) 大学史資料等の計画的な保存、整理、保全業務を行う「アーカイブズ準備室」を設置しました。また、障がいのある学生に対する支援業務を行う「学生支援室」を設置しました。	—	—	—

7 施設 の 適 正 維 持 管 理 と 有 効 活 用	1) 既存施設設備のメンテナンス	1) 引き続き中長期的に予防保全型管理により、計画的・効率的に進めました。	308.5	257.7	50.8
	2) UR校地施設の建設と運用準備	2) 「獨協大学コミュニティスクエア」と命名し、2月に竣工しました。運用については、「獨協大学コミュニティスクエア使用要領」を作成し、令和5年4月より施設の運用にあたります。	600.0	865.9	-265.9
	3) 遊休用地・施設の整理	3) 新甲子セミナーハウス解体(売却は次年度以降継続)、八丈島所有地売却、旧敬和館に付随する私道の譲渡および公道化を行いました。	160.0	222.1	-62.1
8 財 務	1) 新規寄付金募集開始	1) 新たに「獨協大学学生サポート寄付金」の募集を開始しました。	3.0	1.1	1.9
	2) 経常費補助金の獲得拡大	2) 「ガバナンス・コード」の公開、IRに関する事務分掌の改正を行い、「教育の質に係る客観的指標」の点数獲得に努めました。	—	—	—
	3) 学納金改定に向けた準備	3) 令和6年度入学生からの改定に向け、準備を進めています。	—	—	—
9 そ の 他	1) SDGs への取組み	1) 「獨協大学 SDG s 行動指針」に基づき活動し、「獨協大学 SDG s 報告書」にまとめ公表しています。また、日本経済新聞社主催の「大学 SDG s カンファレンス」で、本学の取り組みが紹介されました。	1.5	1.0	0.5
	2) DASS の積極的活用	2) 入試広報の窓口となる「Dokkyo Admissions Office (DAO)」の業務委託を新たに開始しました。	179.1	183.4	-4.3

## 2023年度 主要事業計画書

(単位：百万円)

	事業名	事業内容	2023年度予算
1 第3期 評価への 対応	1) 学修成果の把握、評価	1) 学修成果の把握、可視化のための取り組み	25.0
	2) 学部及び研究科の収容定員管理	2) 学部の収容定員を考慮した入学目標者数の設定及び研究科における定員充足率改善のための具体的方策の検討	—
			合 計 25.0
2 教育力の 強化	1) カリキュラム改正 (令和6 (2024) 年度施行)	1) ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーに沿ったカリキュラム改正の準備	1.3
	2) 全学共通カリキュラムの点検評価	2) 「全学共通カリキュラム将来構想検討委員会」による全学共通カリキュラムの点検評価及び改正の検討準備	—
	3) 自律学修支援の推進	3) 自律学修支援に対するハード・ソフト面でのバックアップによる学修成果の向上	13.8
	4) 教学 IR 体制の構築	4) アセスメント結果の活用等、教学 IR 体制構築のための準備	—
	5) 学生の学修実態の把握	5) 学生の学修実態把握のための施策実施	—
			合 計 15.1
3 学生の 強化 支援	1) 組織的横断的学修支援の継続	1) 「学生支援連絡会」による組織横断的な学生サポート体制の推進	4.3
	2) キャリア支援の強化	2) 学生への情報発信の充実と初年度からのキャリア形成教育の整備	0.6
			合 計 4.9
4 広 入 試 の 制 度 の 強 化 ・ 入 試	1) 志願者数の確保	1) オープンキャンパスの充実、高校訪問等に加え、年内入試の志願者、入学者の維持と学内併願の推進	32.1
	2) 入試制度改革	2) 新学習指導要領に対応するための入試制度検討	0.3
	3) 入試広報の強化	3) 広報予算の有効的活用と保護者向け入試広報の強化	91.9
			合 計 124.3
5 推 進 国 際 化	1) 「獨協大学の国際化推進のためのアクションプラン 2021」の遂行	1) タスク管理事業計画「大学の国際化の推進に関する年度計画」の実行	9.7
			合 計 9.7
6 人 事 ( 組 織 )	1) ダイバーシティ&インクルージョンの推進	1) 教職員に対する啓発と多様な働き方の支援	—
	2) 新たな人事制度の構築	2) 一人一人の自己実現に寄与する人材育成制度の構築	—
	3) 獨協アカデミックサポートサービス株式会社 (DASS) の積極的活用	3) 教育支援及び入試広報等の業務委託	187.3
			合 計 187.3
7 率 化 ・ 機 器 整 備 計 画 の 効 率 的 な 管 理 、 運 用	1) 既存施設設備のメンテナンス	1) 事後保全型管理から予防保全型管理への転換	143.3
	2) 獨協大学コミュニティスクエア (CS) の効率的な管理、運用	2) 学生の活動を活性化するための運用形態の構築	57.0
			合 計 200.3
8 財 務	1) 寄付金募集事業の強化	1) 寄付金募集事業「獨協大学学生サポート寄付金」の拡充	0.8
	2) 経常費補助金の獲得強化	2) 「教育の質に係る客観的指標」に関するポイント獲得のための積極的取り組み	—
	3) 事業収入の拡大	3) 施設使用料の見直しと施設貸出の拡大及びコロナ禍のノウハウを活かしたオープンカレッジの事業展開	2.7
	4) 経費削減	4) 経費に関する適正価格の把握等による経費削減	—
			合 計 3.5